

AP成果報告会

アクティブラーナー 育成のための 学修支援体制づくり

聴講無料 要申し込み

日 平成28年3月12日(土)
時 13:30~17:00(終了後、18時30分頃まで情報交換会)

場 京都光華女子大学
所 徳風館6F小講堂
※お車でのご来場はご遠慮ください

学習・学修マネジメント力を向上させる学修支援体制を構築するために



平成26年度に本学の大学・短大部が両採択されて、平成27年度は2年目を迎えました。本AP成果報告会では、採択2年目としての本学APの取組とその成果を報告します。

第一部では、授業、授業外課題、学習環境、学習支援等の工夫・改善の取組により、学習意欲、学習行動、習熟度や学力等の成果がいかに向上したかを可視化して検証します。

第二部では、学生による授業内外の学習促進、教育者による本学AP事業推進に向けたパネルディスカッションを通じて、次年度のAP事業の改善につなげます。

PROGRAM

第一部 成果報告 13:30~15:15

本学APの事業内容

本学大学のAP事業

酒井 浩二(本学 キャリア形成学部)

本学短期大学のAP事業

相場 浩和(本学 短期大学部)

EM・IR機能の全学展開によるAP促進

水野 豊(本学 副学長 キャリア形成学部長 EM・IR部長)

各取組とその成果

① 授業のアクティブラーニング

小山 理子(本学 短期大学部)

② 授業外の学習支援

小澤 千晶(本学 キャリア形成学部)

③ 学習行動のアセスメント

藤田 大雪(本学 キャリア形成学部)

④ 学習成果の可視化

成瀬 尚志(本学 短期大学部)

第二部 パネルディスカッション 15:30~17:00

学生の部

「授業内外の学習とその成果」

コーディネータ

葛城 浩一氏(香川大学 大学教育基盤センター)

パネリスト

本学の学生

教育者の部

「AP事業改善に向けて」

コーディネータ

村上 正行氏(京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター)

パネリスト

林 透氏(山口大学 大学教育機構 大学教育センター)

奥田 寛司氏(リアセック株式会社)

相場 浩和(本学 短期大学部)

酒井 浩二(本学 キャリア形成学部)

情報交換会(17:30~18:30) 場所:本学 瑞風館 食堂



「アクティブラーナー育成のための学修支援体制づくり」FAX申込書

FAX 075-325-5317

申込方法

本学学生サポートセンターまでTEL・e-mailまたはFAXにてお申し込みください。その際に、お名前・ご住所(任意)・連絡先(TEL・e-mail)・参加人数をお知らせください。

※FAXの場合は、下記の申込書をご利用ください。

申込締切

平成28年3月10日(木)

定員 150名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込日	平成28年	月	日	フリガナ お名前	
参加人数 ※申込者含む	[成果報告会] ご出席()名・ご欠席()名		[情報交換会] (会費/1,000円)		ご出席()名・ご欠席()名
ご住所	〒	都道府県	区市	郡	
連絡先	<input type="checkbox"/> TEL		<input type="checkbox"/> e-mail		
連絡事項					

※上記の個人情報は、成果報告会の運営および今後の教育事業(本学公開講座のご案内等)に関してのみ利用させていただきます。

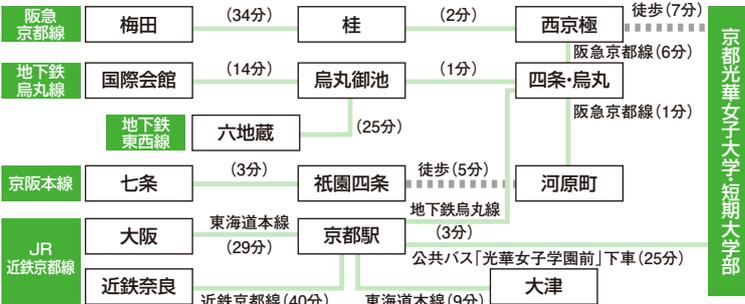
申し込み・お問い合わせ先

京都光華女子大学 学生サポートセンター

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38
TEL:075-325-5308 kyomu@mail.koka.ac.jp
※月～金10:00～16:00[土・日・祝はTEL以外の受信のみ]

Access MAP

梅田から約40分 / 大津から約30分 / 奈良から約60分



※時間帯により所要時間が異なります。



<p>バス情報</p> <p>京都市営バス 特27・32・73・80・84系統 [京都駅発]73系統(烏丸口 C5のりば) 84系統(八条口 4のりば)</p>	<p>京阪京都交通バス 21・21A・27系統 [京都駅発]全系統(烏丸口 C2のりば)</p>	<p>京都バス 81・84系統 [京都駅発]84系統(烏丸口 C6のりば)</p>	<p>下車はすべて 「光華女子学園前」です</p>
---	--	---	-------------------------------

文部科学省
平成26年度

「大学教育再生加速プログラム」^(※1) に採択

全国で250件申請中
46件が採択
大学・短大
テーマ別の
ダブル採択は
全国唯一

本学は大学・短期大学部ともに申請を行い、大学は「テーマI(アクティブ・ラーニング)」、短期大学部は「テーマI(アクティブ・ラーニング)・II(学修成果の可視化)複合型」で採択されました。

京都光華女子大学

育成する
女性像

- 問題解決に向けて、自らの行動をマネジメントできる力を持つ女性
- 実践力を身につけ、積極的に行動できる女性
- リーダーシップを発揮できる女性

本事業は、アクティブ・ラーニング(AL)を「知識やスキルの習得に向けて資源を自立的に有効活用する学びの態度」と定義し、「学習・学修マネジメント力」を向上させる学習支援体制を全学的に構築します。

京都光華女子大学短期大学部

育成する
女性像

- 自分の未来をデザインできる実践者
- 豊かなコミュニケーション能力を備える社会人
- 身近な環境を科学的に考える生活者

「短期大学における社会人基礎力育成の1つのモデル」と評価^(※2)された、本学の社会人基礎力育成科目群へのアクティブ・ラーニング(AL)の導入実績をふまえ、このたび、ALを多様な専門分野、基礎学力育成分野、人間性育成分野へ全面的かつ組織的に拡大します。

(※1)「大学教育再生加速プログラム(Acceleration Program for University Education Rebuilding: AP)」は、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、内閣総理大臣が開催している教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を支援することを目的としています。(※2)社会人基礎力育成グランプリ2014(社会人基礎力協議会)で準大賞受賞。「社会人基礎力を育成する授業30選(経済産業省)」に選ばれました。